



協会だより

Japan Tourism Facilities Association

No.151



5 月

発行／公益社団法人国際観光施設協会

総務委員会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋

2-8-5 多幸ビル九段2階

TEL03-3263-4844

FAX03-3263-4845

E-mail: kankou01@syd.odn.ne.jp

URL: <http://www.kankou-fa.jp>

2025年5月8日

会長 10 年で考えた事

会 長 鈴木 裕

お陰さまで会長就任以来 10 年が過ぎました。振り返ってみると公益法人というノンビジネスの活動から学ぶことが大変大きかった事を改めて感じています。ビジネスでは無いと言うことは利益を考えずに自由に発想できると言うことでもあります。

「観光と技術」に関連する事であれば自由に発想し活動に結び付けることができました。ビジネスというしがらみから解放された自由な発想はロマンチックではあるが理想的な提案に結び付くことも多々ありました。そして今、浅野副会長のもとで「能登半島の災害復興支援活動」を会員ビジネスと繋ぐ試みが始まりました。そんな 10 年を原点に帰って具体的に振り返ってみたいと思います。

国際観光施設協会とは

当協会はホテル・旅館の計画・建設など観光に関わる技術分野の企業や専門家の会員で構成される公益社団法人です。「観光とは国の光を観ること」つまり、地域の宝である[ものごと]を心で観ることを言います。当協会は隠れた地域の宝を見つけ出し、それをブラッシュアップして光にする提案をしています。宝探しをする上であらゆる空間にアプローチしており、ホテル、旅館のような観光施設空間、観光地、都市、森、海、川といった観光交流空間、そして物理的空間だけでなく観光情報空間へと活動領域は大きく広がっています。活動はCSV(Creating Shared Value)の理念で内容とメンバーを決めます。CSVとはハーバート大学のマイケル・ポーター教授が提唱している理論で、経済的価値(利益の獲得)と社会的価値(社会的課題の解決)の両立という「共有価値の創造」を軸とした経営のことです。当協会では CSV 採用の結果、公益活動だけではなく会員のビジネスに関連するテーマを選んで会員によし、協会によし、結果社会によしの三方よしを目標に活動を展開しています。

また、観光の本質はホスピタリティであるという理解から当協会の活動理念は3つのホスピタリティ

としました。ものへのホスピタリティ、社会へのホスピタリティ、自然へのホスピタリティです。

最近そうした活動からビジネスに発展する事例が出てきました。「木づかい活動」の影響で会員のナニックジャパンの地元産木材を活用した木製ブラインドビジネスが生まれ、「LINKED CITY 活動」からは 100 社を超える「LINKED CITY コンソーシアム」が誕生して全国展開しています。また、「木づかい活動」と「LINKED CITY 活動」から岐阜県で「地場産木材によるトレーラーハウス」ビジネスが始まりつつあり、また EV に乗ることができるロボットが開発されました。すなわち、公益社団法人である当協会は、「観光技術のインキュベーション・プラットフォーム」となる可能性が出て来たのです。

これから

世界は人の環世界(umwelt)に征服されてしまっており人の快適さだけを追いつけています。先進国の現代人の消費エネルギーはローマ皇帝より多いと言う説もあるくらいに満ち足りてきているにもかかわらず、人間の欲望は限度を知らずより刺激のつよい麻薬的消費の世界へ向かっています。そこは自分中心の利己の世界でもあり、他者を排除する指向性があります。紛争が起き戦争が始まります。それを回避するためには、まず利己ではなく利他のこころの価値に気づくことが必要だと思います。日常時から人、もの、社会、自然へのホスピタリティの精神を養って実行し習慣にすれば、利他のこころが根付くのです。

公益社団法人である当協会は「観光技術のインキュベーション・プラットフォーム」として利他である公益活動で発想し、利己である会員のビジネスの世界に繋げるという社会モデルを実現出来る組織となることが理想だと考えます。

令和7年度通常総会と関連行事のご案内

事務局長 清水 康之

令和7年度通常総会を開催いたします。今年の総会関連行事として、建築家の藤本壮介氏（藤本壮介建築設計事務所主宰）をお招きし、講演を予定しております。

藤本氏は、東京大学特任准教授を務められ、日本建築大賞や JIA 新人賞など数々の受賞歴を持つ建築家です。日本国内のみならず海外でも活躍し、2025 年大阪・関西万博では会場デザインプロデューサーを務めるなど、幅広い分野で注目を集めています。藤本氏の建築に対する考えや、最新のプロジェクトについてお話しいただく予定です。貴重な機会となりますので、ぜひご参加ください。

日時：令和7年6月16日（月）

14:00～18:50

会場：ホテルメトロポリタン エドモント

（1階 クリスタルホール／2階 悠久）

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

スケジュール

- ・通常総会（1F クリスタルホール）14:00～15:45
- ・セミナー（1F クリスタルホール）16:00～17:20
- ・交流会（2F 悠久）17:30～18:50

「高砂熱学イノベーションセンター」 見学会報告

設備部会 部会長 藤野 賢治

2月26日に設備部会主催で「高砂熱学イノベーションセンター」の見学会を参加者18名で開催しました。創立100周年を迎えた高砂熱学工業が、新たな研究開発拠点として計画した施設で、「地球環境負荷低減と知的生産性を両立したサステナブル建築」を設計コンセプトとし、建築計画における空調負荷抑制や自然エネルギーの利用、先進的な設備の導入により大幅なエネルギー消費量の削減を図った建物です。太陽光発電、バイオマス発電、蓄電池の導入により再生可能エネルギーを有効活用し、運用段階において施設全体で Nearly ZEB を達成するとともにグリーン電力を購入することでカーボンニュートラルも達成しています。

施設全般の説明を受けた後、オフィス棟、設備展示棟を案内して頂きました。オフィス棟では、執務者が仕事をしている様子を見ることが出来るライブオフィスの見学を行うとともに、展示スペースでは、目に見えない“空気”を体感できる様々な国の気候を模倣したエア・チューブに入って温湿度の違いを体感し、未来シアターでは、初代社長である柳町政之助氏のアンドロイドと映像による会社の歴史や未来についての紹介を受けました。

見学会後は施設の方も交えた懇親会を開催し、技術情報の交換を行うとともに交流を深めました。

荻外荘＜てきがいそう＞見学会報告

インテリア部会 注目施設見学グループ

グループリーダー 長尾 俊夫

閑静な荻窪駅の南側、かつて要人達が邸宅を構えたこの地に政治家・近衛文麿は伊東忠太設計の和洋折衷建築を医師の入澤達吉から譲り受け、荻外荘と命名されました。一部移築された部分も再移築され昭和の政治の転換点となる会議が数多く行われた時代の姿に復元整備が完工して公開が始まり参加者28名で訪れました。

設計施工、竹中工務店担当の安久津様と家具設計

製作、三越伊勢丹プロパティ・デザインの高橋様から設計の概要の説明を伺い邸内案内をいただきました。

書院造り風の構成に洋風、東洋趣味が織り込まれ、玄関入った応接間は中国風の意匠の部屋で製作に苦労された螺鈿家具が目目を引く。会議の場であった客間は当時の新聞写真をもとに壁紙、家具の復元的創作の熱意が端々に感じられました。国指定史跡となり、目に見えない苦労も大きかったようです。2012年所有者の近衛通隆氏が亡くなり開発を懸念し保存を求める地元の要望を受けた区が建物含めた敷地全体を取得し2015年基本構想が策定された経緯は重要な英断であったといえます。

インテリア分科会 調査会&ライブ配信 大和重工

一たたら製鉄から発展したものづくり さらなる高みへー 報告

インテリア分科会 分科会長 内田 幸子

今回は広島にある大和重工様の鋳物ホーローの浴槽ものづくりの現場で調査会を開催させていただきました。なぜこの地に鋳物が？そしてなぜホーローが？という理由は良質の砂鉄が取れることから旧くから「たたら」の技術が受け継がれてきたからです。

事前に勉強をして現地に入ったものの…やはり目の前にもものづくりの現場があり、作り手がいらっしやると、お話ししながら次の興味や質問がどんどん出てきます。またその会話の先にまた次の興味が湧いてしまいます。真野工場長様をはじめ工場の皆さまにはとめどなく次々に発生する私たちのコメントやなぜ？を拾い上げていただき、逆に、設計者はそういうことに興味を持つのか！という発見もあったそう。ライブ配信では双方で興味深いお話をたくさんできました。ZOOMでご参加いただいた皆さまとも活発に意見交換ができました。工場内の撮影には田中社長様が自らカメラを回してくださり、実はビデオの編集もしていただきました！この場を借りて改めて深く御礼申し上げます。又、2月に行われたホテルレストランショーのインテリア分科会のショートセミナーにも登壇いただきました。

調査会の様子は戸井さんが季刊誌「若葉」に詳細にレポートしてくださっていますのでぜひご覧くださいませ！

* インテリア分科会では「デザイン温故知新」をテーマにした研究活動を継続して進めています。近年は協会員のものづくりにも注目し、伝統的技術を継承&更新し、技術産業として現在から未来につないでおられる会社（法人会員）を訪ねて、創業以来の時代と社会の要求の変化に、どのように変化&対応をしてきたのか、今後の展望は？等を学ぶという試みです。



☆新入会員紹介☆（入会順）

【正会員/設計・調査】

株式会社ユニバサル設計

（代表者）代表取締役社長 西倉哲夫

（担当者）常務取締役 管理本部長 柳田一弘

〒252-0304 神奈川県相模原市南区旭町 10-17

TEL042-744-1750 FAX042-748-9199

営業内容：構造物並びに付帯設備の建築設計及び
工事監理業務

【正会員/施工・設備関係】

株式会社ローヤルエンジニアリング

（代表者）代表取締役 水登健介

（担当者）社長室 室長 中村佐知子

〒171-002 東京都豊島区西池袋 4-24-4

TEL03-3959-7431 FAX03-3959-7505

営業内容：管工事業、電気工事業

【正会員/個人】 木俣知大

（株）ユニバーサルデザイン総合研究所

（一社）日本ウッドデザイン協会

【正会員/個人】 稲垣雅夫 アトリエG K

【正会員/個人】 阿部 彰 A+A 美来研究室

【正会員/製造業・販売業】

株式会社アムレックス

（代表者）代表取締役 南 幸佑

（担当者）福本幸子

〒106-0032 東京都港区六本木 7-15-13

六本木ダイヤハイツ 810 号

TEL03-6455-5227 FAX03-6804-6621

営業内容：輸入装飾建材 Viro の輸入・販売

第119回国際観光施設協会 HOP 会のご案内 ゴルフ会 会長代行 杉浦 司

国際観光施設協会の春のゴルフコンペを下記のとおり開催致します。

まだ少し参加枠があります。お申込みをお待ちしています。

日 時：令和 7 年 5 月 30 日（金）

コース：狭山ゴルフ・クラブ

プレイ費：約 20,010 円（キャディ付、食事別途）
各自精算

会 費：5,000 円（パーティー費含む）

コンペ終了後は表彰式と懇親会、賞品も多数用意しております。

♥編集後記♥

新年度に入りましたが、今年度より公益法人認定法の一部が改正され施行されることとなりました。

当会は 2012 年に公益法人に認定されてから 13 年が経ち、これまで公益事業の充実をはかってまいりましたが、新法では、将来の公益目的事業を充実させるための資金の保有を規定しており、新法に沿って更なる拡充を目指して進めて参りたいと存じます。

この協会だよりも今回で 151 号となりましたが 1995 年 7 月に第 1 号を発行してから今年で 30 年がたちました。機会があつて初版より編集を担当させていただきましたが、この度新しい体制の元へ引き継ぎをさせて頂くことといたしました。

協会の行事を詳細にお伝えする機関紙として、引きつづきご協力頂きますようお願いいたします。

金光義和

